

シルバーカー



取扱説明書

保管用

このたびは、エキシカートをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本説明書をよくお読みになり、正しく安全にご使用くださるようお願い申し上げます。

この取扱説明書は必ずお読みいただき、お読みになったあとは、大切に保管してください。

この製品は主として自立歩行できる高齢者が、より安定して歩行できるように補助的に使用するものです。

手すり等の固定したものにつかまらなければ歩行できない人や介助者に手伝ってもらわなければ歩行できない人等には適しません。

注意

- ・この製品が使用に適しているか不明な場合、福祉用具専門相談員や作業療法士、理学療法士などの専門家等に相談し購入されることをお勧めします。
加齢等によりこの製品が合わなくなり危険となる場合があります。
屋内の移動が困難になったり、屋外でも短距離の移動が困難になった場合には使用を中止してください。
- ・定期的に専門家等にこの製品が適切かどうか確認することをお勧めします。

目次

安全上の注意	1	2	3
仕様	3		
各部の名称	4	5	
エキシカートを広げる	5		
エキシカートを折りたたむ	6		
前輪の操作	6	7	
ハンドルの高さ調整	7		
手元ブレーキ・駐車用ブレーキの操作	8		
段差の乗り越え	8		
座面に座る	9		
買い物かごを載せる	10		
キャリーバッグの取り外し	11		
キャリーバッグを使う	11		
キャリーバッグの取り付け	12		
お手入れ	13		
保管上の注意	13		
保安上の注意	13		
廃棄	13		
保証内容・SGマーク			裏表紙

ご使用の前に

ご使用時に

ご使用の後に

安全上の注意

ご使用の前に、この安全上の注意をよくお読みの上、正しくお使いください。また、読み終わった後は大切に保管してください。

ここに示した注意事項は、商品を正しくお使いいただき、お客様本人や他の方々への危害、危険、損害を未然に防止するためのものです。

また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」・「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守ってください。

警告 : 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

注意 : 人が損害を負う可能性および物的損傷のみの発生が予想される内容

警告

- ・ 階段やエスカレーターでは絶対に使用しないでください。落下、転倒により重大な事故につながる恐れがあります。
- ・ 階段やエスカレーターを利用する際は、折りたたんで、持ち運びください。
- ・ エキシカートにキャリーバッグを取付けて持ち運ぶ際は、バッグ持ち手を持たないでください。キャリーバッグが外れエキシカートが落下する恐れがあります。
- ・ キャリーバッグ内に乳幼児を乗せたり、座面に人を乗せたまま移動しないでください。
- ・ バス、電車を利用する際は、折りたたんで、持ち運びください。車内では使用しないでください。
- ・ 分解、改造は耐久性に影響をおよぼすため絶対に行わないでください。
- ・ 立ち座り補助グリップには、物を掛けたり、横から寄りかかったり、座ったり、立ったりしないでください。転倒や破損の恐れがあります。
- ・ エキシカートを踏み台代わりに使用しないでください。
- ・ 座面の上には絶対に立たないでください。落下、転倒により重大な事故につながる恐れがあります。
- ・ 坂道など水平ではない場所で、駐車や座面に座ることは止めてください。
- ・ 身体を車輪や回転部、作動部などに挟まれないよう、充分注意しながら使用してください。
- ・ 座ったり、立ち上がる際には、必ず駐车用ブレーキを使用してください。エキシカートが動き、落下や転倒事故を招く恐れがあります。
- ・ ハンドルには物を掛けないでください。重心が後ろ側に傾き転倒する恐れがあります。
- ・ ハンドルには寄りかからないでください。エキシカートが動き転倒する恐れがあります。
- ・ 段差や溝などにつまずくと転倒する恐れがあります。充分注意して使用してください。また、段差を斜めに進入することは止めてください。段差の手前では必ず一旦止まり充分注意して慎重に段差を超えてください。

警告

- 暖房器の周辺など高温の場所での使用・保管は止めてください。変形や破損、火災の原因となります。
- 雨、雪、路面の凍結時や、風が強いときは使用しないでください。エキシカートが滑り転倒する恐れがあります。
- 背もたれフレームを持ち上げエキシカートを広げた際、およびご使用の前には、必ずフックにピンが掛かり、しっかりと固定されていることを確認してください。しっかりと固定されずに使用されると背もたれフレームが折りたたまれ、転倒などにより重大な事故につながる恐れがあります。

注意

- エキシカートを投げたり、落としたりしないでください。
- 本来の使用目的と違った使用は止めてください。
- 坂道など水平ではない場所での保管、放置は止めてください。
- 高温・多湿な場所に長時間放置しないでください。
(70℃以上の場所に保管されると部品が変形する恐れがあります。)
- 衣服を車輪や回転部、作動部に挟まないよう充分注意しながら使用してください。
- 手元ブレーキ、駐車用ブレーキの効きについては、ご確認のうえ、十分に理解して使用してください。
- ご使用前には各部を点検し、特に手元ブレーキの左右両輪の性能については充分確認し、使用してください。
- タイヤの摩耗、ブレーキの効き具合は定期的に点検を行ってください。調整や交換が必要な場合はお買い求めの販売店、またはメーカーに連絡してください。
- 交通の頻繁なところ、混雑しているところ及び、夜間のご使用は充分注意して使用してください。
- 悪路、水たまりでは使用しないでください。
- エキシカートを広げる際は、手、指などを挟みこまないよう注意してください。
- エキシカートを折りたたむ際は、手、指などを挟みこまないよう注意してください。
- エキシカートを折りたたむ際は、転倒させないように注意してください。
- 前輪の旋回止めレバー、旋回規制レバーを操作する際は指の挟みこみに注意してください。
- ハンドル高さの調整を行う際は、高さ調整ツマミを落とさないよう注意してください。
- ハンドル高さの調整を行う際は、高さ調整ツマミをしっかりと確実に締め込み固定してください。
- ハンドル高さの調整を行う際は、ハンドル高さが左右同じ高さになっていることを確認してください。
- ハンドル高さの調整完了後は、ハンドルにガタつきが無いことを確認してください。
- 駐車用ブレーキを操作する際は、指の挟み込みに注意してください。
- ハンドルと手元ブレーキの間に指を入れ、ブレーキ操作を行わないでください。
- ハンドルは、爪や鋭利なもの、その他硬いものに強く触れないよう、ひっかけないようご注意ください。やぶれたり切れたりすることがあります。
- 座面に座る際は、座面の中央にゆっくりと腰を下ろすようにしてください。
- 交通の妨げとなる場所では座面に座ることは止めてください。

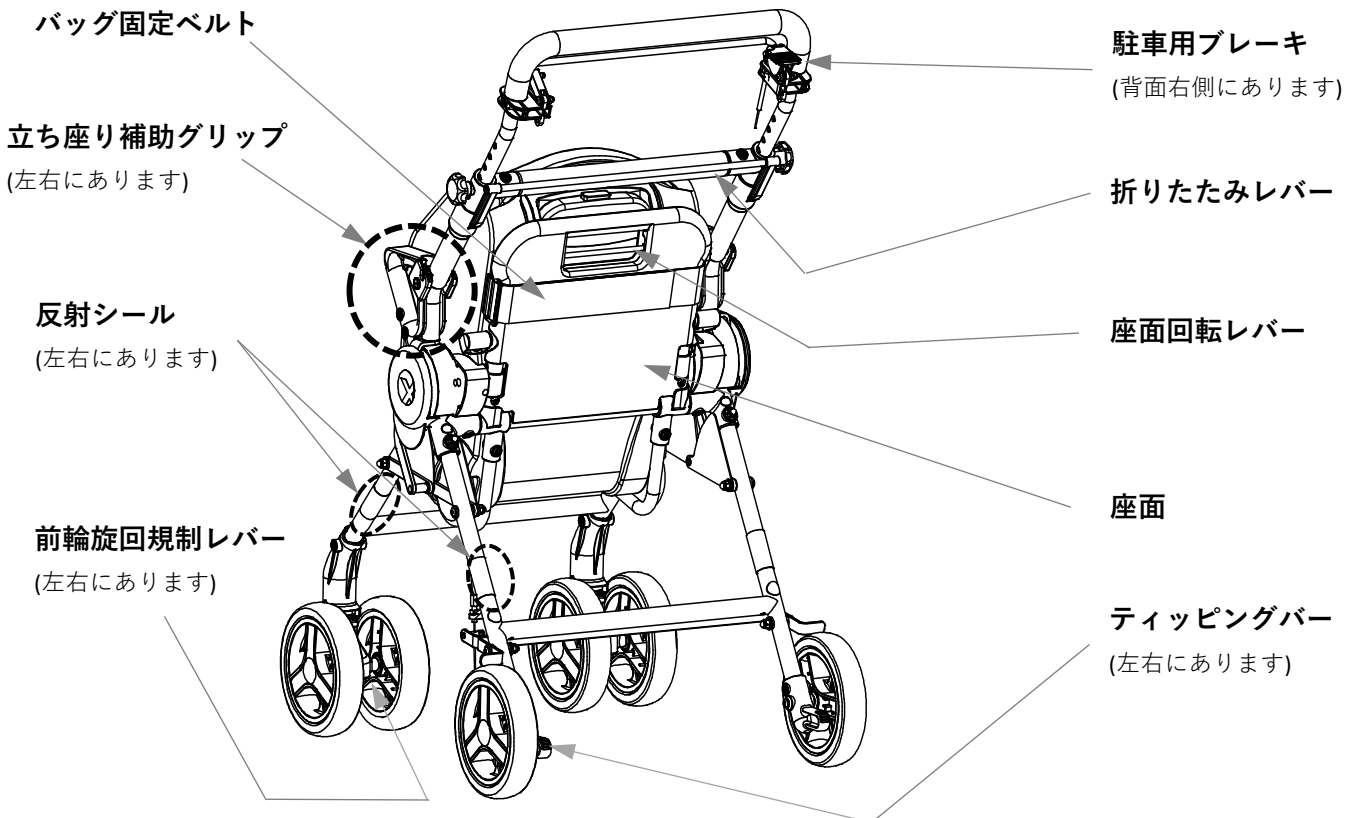
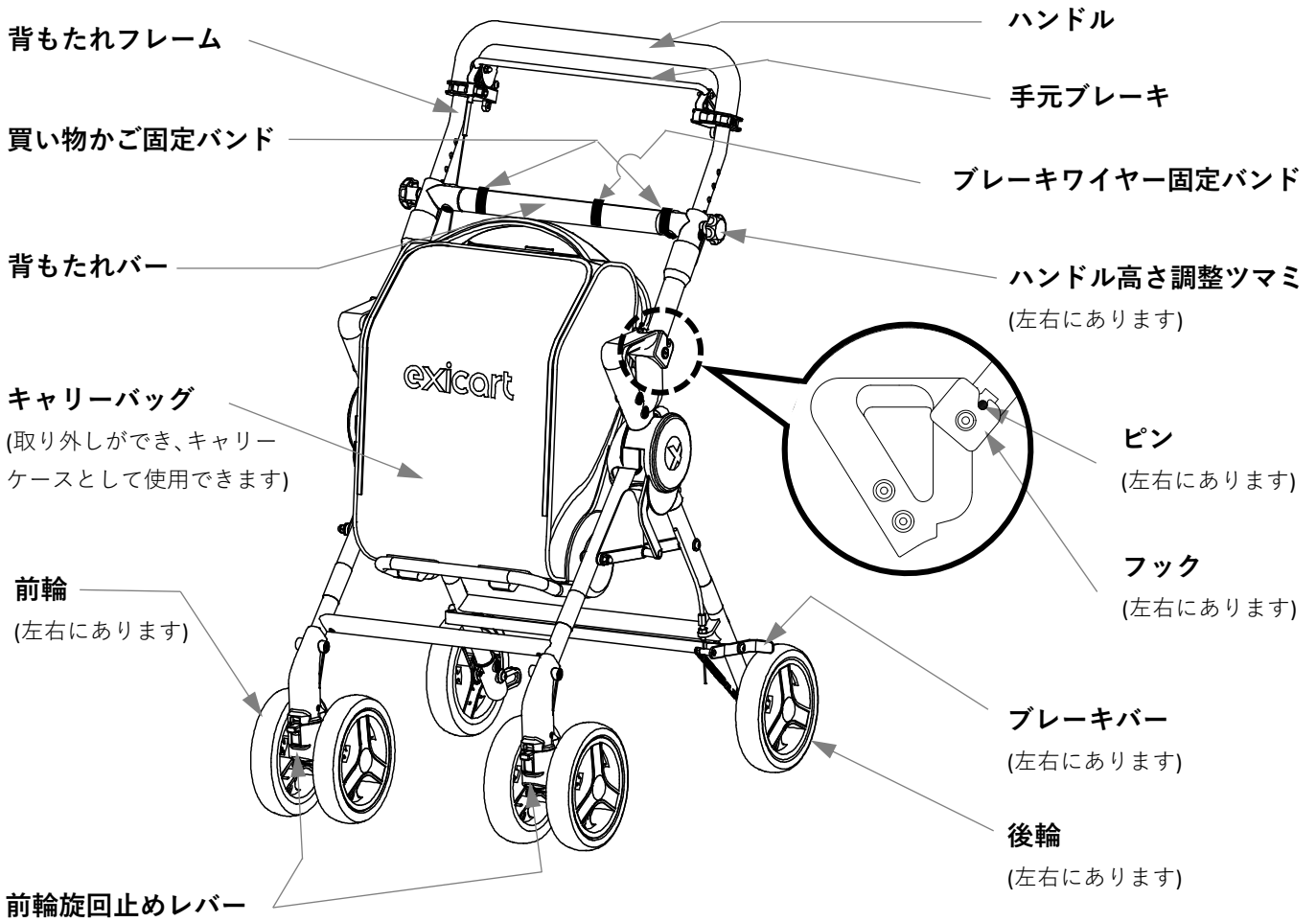
⚠ 注意

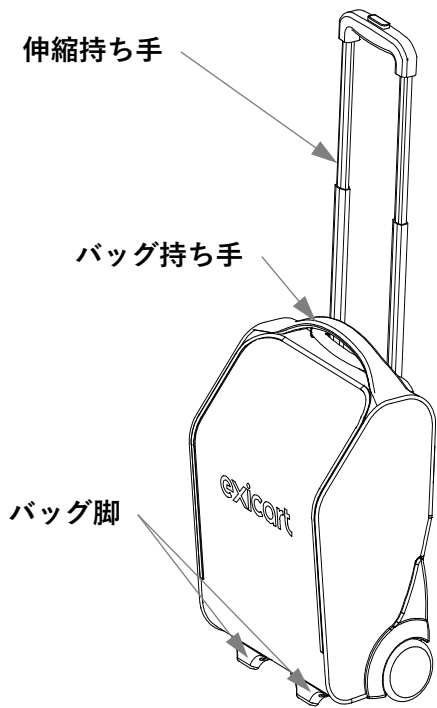
- 買い物かごを載せて使用する際は、急な動作は止めてください。バランスを崩す恐れがあります。
- 買い物かごを載せて使用する際は、買い物かごが落ちないように注意してください。
- 買い物かごを取外す際は、買い物かごや中身が落ちないように注意して取外してください。
- 買い物かごの中身が偏ると旋回操作がやりにくくなる場合があります。充分注意してください。
- 指定された箇所以外の場所に荷物を入れたり、吊り下げたりしないでください。
- キャリーバッグにはバッグより長い物を入れないでください。
- キャリーバッグに荷物を入れた状態で折りたたむ際には、転倒に注意してください。
- キャリーバッグ取付の際は、バッグ脚がフレームにきちんとはまっていることを確認してください。
- キャリーバッグ取付の際は、バッグ固定ベルトがしっかりと座面に固定されていることを確認してください。
- キャリーバッグの伸縮持ち手を使用する際は、手、指の挟み込みに注意してください。
- キャリーバッグに入れる荷物の総重量は、5kgまでにしてください。
- 最大使用者体重は100kgです。必ずお守りください。
- 組立、および調整は確実に行ってください。

仕 様

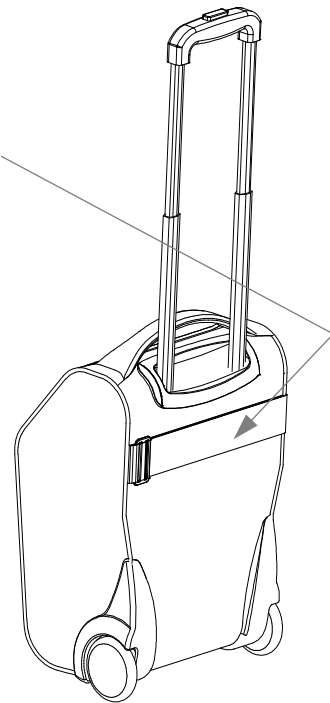
製品名称	エキシカート
型 式	EXCT - 01 N/R (ネイビー/レッド)
フレーム重量	約7.2kg
キャリーバッグ重量	約2kg
最大使用者体重	100kgまで
座面高さ	44cm
キャリーバッグ容量	約17L (5kgまで)
主な機能	手元ブレーキ、駐車用ブレーキ、跳ね上げ座面、取外し可能キャリーバッグ 付属、キャスター(直径16.5cm、固定・左右30度・360度)
フレーム材質	アルミ、鉄、ステンレス、プラスチック
キャリーバッグ材質	ポリエステル、アルミ、鉄、プラスチック
フレーム寸法	約 巾54cm×奥行64cm×高さ89cm~95cm(ハンドル高さ5段調整)
フレーム折りたたみ寸法	約 巾54cm×奥行38cm×高さ74cm
キャリーバッグ寸法	約 巾30cm×奥行20cm×高さ48cm 伸縮持ち手高さ：約 77cm~88cm (高さ3段調整)
保証期間	ご購入日より1ヵ年
SG保証期間	ご購入日より3ヵ年

各部の名称





バッグ固定ベルト

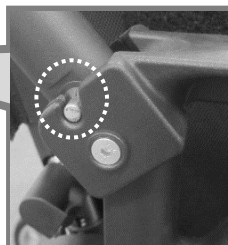


ご使用の前に

エキシカートを広げる



- ① 片方の手で立ち座り補助グリップを押さえ安定させます。もう一方の手でハンドルを握ります。
- ② ハンドルを持ち上げ、「カチッ」と鳴るまで引き上げます。



⚠ 警告

フックにピンが掛かり、しっかりと固定されていることを確認してください。
(左右共に確認します)
しっかりと固定されずに使用されると背もたれフレームが折りたたまれ、転倒などにより重大な事故につながる恐れがあります。

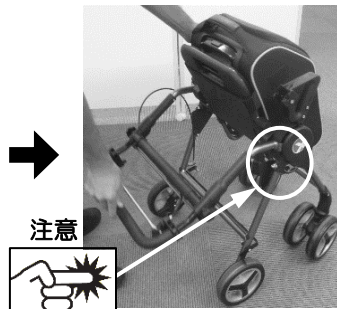
⚠ 注意

ハンドルは、爪や鋭利なもの、その他硬いものに強く触れないよう、ひっかけないようご注意ください。
やぶれたり切れたりすることがあります。

⚠ 注意

広げる際は、可動部に、手、指などを挟みこまないよう充分ご注意ください。

エキシカートを折りたたむ



- ① 駐车用ブレーキをかけます。
- ② 片方の手でハンドルを押さえ安定させます。もう一方の手で折りたたみレバーの中央を引き上げます。
- ③ フックからピンがはずれていることを確認します。（左右共に確認します）
- ④ ハンドルをゆっくりと一番下まで下げます。

警告

折りたたみ、持ち上げる際は、バッグ持ち手を持たないようにしてください。キャリーバッグが外れ、エキシカートが落下する恐れがあります。

注意

折りたたむ際は、可動部に、手、指などを挟みこまないよう充分注意してください。

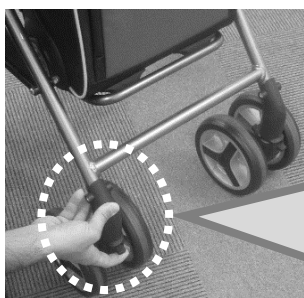
注意

折りたたむ際は、転倒させないように注意してください。

注意

キャリーバッグに荷物を入れた状態で折りたたむ際には、転倒に注意してください。

前輪の操作



【前輪の旋回を止める】

- ① 前輪を左の写真のように前向きにします。
- ② 旋回止めレバーを「カチッ」と鳴るまで持ち上げます。

※ 前輪が左右に旋回しなくなり直進のみ可能になります。

※ レバーを下げると解除されます。

【前輪の旋回を規制する】

- ① 前輪を左の写真のように前向きにします。
- ② 旋回規制レバーを「カチッ」と鳴るまで持ち上げます。

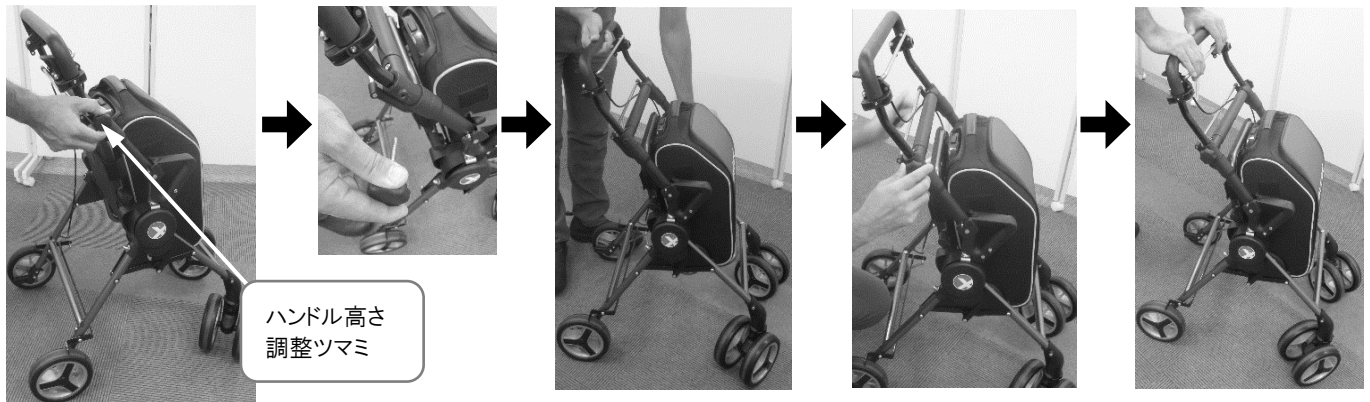
※ 左右の旋回が規制され、直進に対し左右30度の範囲のみ旋回します。

※ レバーを下げると解除されます。

⚠ 注意 旋回止めレバー、旋回規制レバーを操作する際は指を挟みこまないよう充分注意してください。

⚠ 注意 旋回止めレバー、旋回規制レバーは左右共、同じ位置になっていることを確認してください。

ハンドルの高さ調整



- ① ハンドル高さ調整ツマミを反時計回りに回して緩め、ツマミを抜きます。
(左右共に行います。)
- ② ハンドルの高さを調節し、適切な位置でツマミを差し込み締め込みます。
(左右共に行います。)
ハンドルの高さは5段階の調整ができます。ツマミを締め込む際には、ハンドルの調整穴にしっかりと通っていることを確認してください。
- ③ 左右両側のツマミをしっかりと締め込み、ハンドルを上引き、抜けがないことを確認します。
最後にハンドルの高さが適切か確認を行います。

⚠ 注意 高さ調整を行う際は、高さ調整ツマミを落とさないよう注意してください。

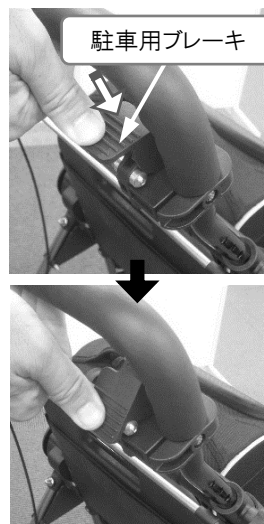
⚠ 注意 高さ調整を行う際は、ハンドル高さが左右同じ高さになっていることを確認し固定してください。

⚠ 注意 高さ調整ツマミはしっかりと確実に締め込み固定をしてください。

⚠ 注意 高さ調整完了後は、ハンドルにガタつきが無いことを確認してください。

ご使用時に

手元ブレーキ・駐車用ブレーキの操作



- ① 手元ブレーキはレバーを握り上に持ち上げることでブレーキが効きます。
離すことでブレーキが解除されます。
- ② 駐車用ブレーキを下に押し込むことで駐車ブレーキがかかります。
(後輪の左右両方にブレーキがかかります。)
駐車用ブレーキを上を持ち上げると解除されます。

警告 坂道など水平ではない場所で駐車することは止めてください。

注意 駐車用ブレーキを操作する際は指を挟み込まないように充分に注意してください。

注意 ハンドルと手元ブレーキの間に指を入れ、ブレーキ操作を行わないでください。

注意 手元ブレーキ、駐車用ブレーキの効きについては、ご確認のうえ、充分に理解し使用してください。

段差の乗り越え



ティッピングバーの踏込み



- ① ティッピングバーを踏み、手元ブレーキをかけ、ハンドルを引きます。
- ② 前輪を持ち上げ、手元ブレーキを離し前進します。
- ③ 前輪を段差の上に載せ、前進し、手元ブレーキをかけ、ハンドルを上を持ち上げ、後輪を段差の上に載せます。

警告 段差などにつまずくと転倒する恐れがあります。充分注意して使用してください。

警告 段差を斜めに進入することは止めてください。

警告 段差の手前では必ず一旦止まり、充分注意して慎重に段差を超えてください。

座面に座る



- ① 駐車用ブレーキをかけ、バッグの持ち手を握ります。
- ② もう一方の手で座面回転レバーを握り矢印の方向に引き上げます。
(座面回転のロックが解除されます。)
- ③ ゆっくりと回転させ、座面を水平にします。
- ④ エキシカートの前に座面を背にして立ち、両方の立ち座り補助グリップに手を載せ、身体を保持しながらゆっくりと腰をかけます。

警告 立ち、座りの際は、必ず駐車用ブレーキをかけてから行ってください。

警告 坂道など水平ではない場所で座面に座ることは止めてください。

警告 バス、電車などの乗り物内で座面に座ることは止めてください。

警告 踏み台代わりに使用しないでください。

警告 座面の上には絶対に立たないでください。落下、転倒により重大な事故につながる恐れがあります。

注意 座る際は座面の中央にゆっくりと腰をかけるようにしてください。

注意 交通の妨げとなる場所では座面に座ることは止めてください。

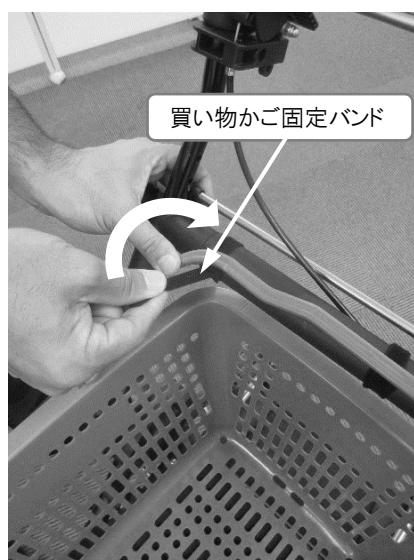
注意 座面を操作する際は指を挟み込まないよう十分に注意してください。

買い物かごを載せる



※買い物かごは付属しておりません。お出掛け先の店舗専用の買い物かごをご使用ください。

- ① 前項の「座面に座る」に従い、座面を水平にします。
- ② 座面へ静かに買い物かごを載せます。
- ③ 買い物かご固定バンドで、買い物かごと背もたれバーを固定します。左右両側の2箇所を固定します。
- ④ 買い物かご固定バンドを外す際は、買い物かごを落とさないよう気を付けてください。



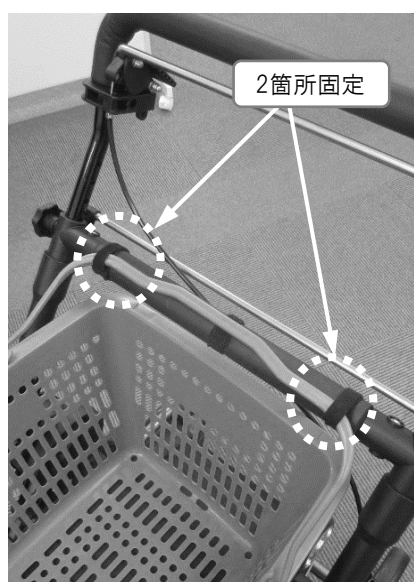
⚠ 注意 買い物かごを載せてご使用になる際は、急な動作はお止めください。バランスを崩す恐れがあります。

⚠ 注意 買い物かごを載せてご使用になる際は、買い物かごが落ちないように充分注意してください。

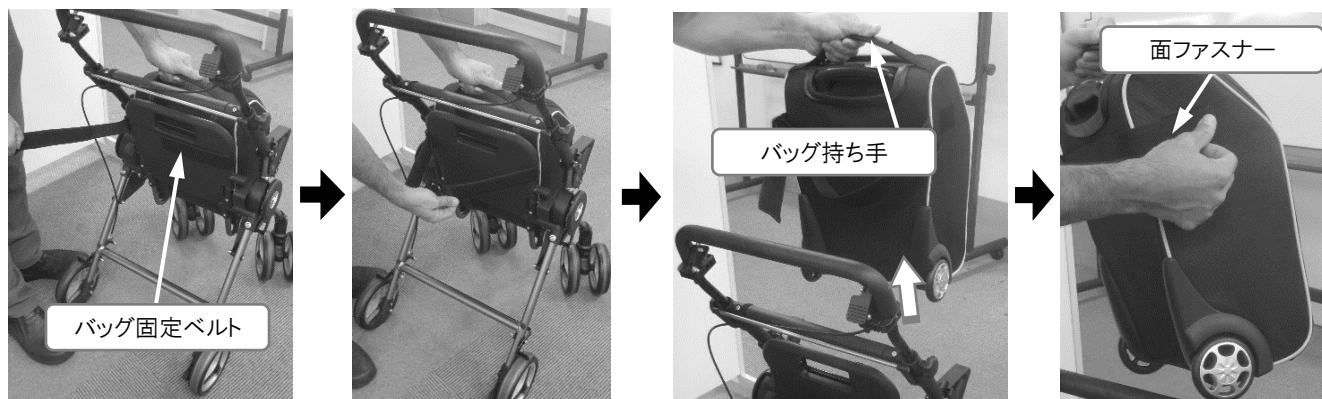
⚠ 注意 買い物かごを取外す際は、買い物かごや中身が落ちないように注意して取り外してください。

⚠ 注意 買い物かごの中身が偏ると旋回操作がやりにくくなる場合があります。充分に注意してください。

⚠ 注意 指定された箇所以外の場所には荷物を入れたり吊り下げたりしないでください。



キャリーバッグの取り外し



① バッグ固定ベルトを剥がし、ベルトを緩めます。

② バッグ持ち手を握り、上に引き抜きます。

③ バッグ固定ベルトを引き、たるみを取って側面の面ファスナーに固定します。

キャリーバッグを使う



単体でのご使用が可能です。

伸縮持ち手

⚠ 注意 キャリーバッグより長いものは入れないでください。

⚠ 注意 伸縮持ち手を使用する際は、手、指を挟まないよう注意してください。

⚠ 注意 キャリーバッグに入れる荷物の総重量は、5kgまでにしてください。

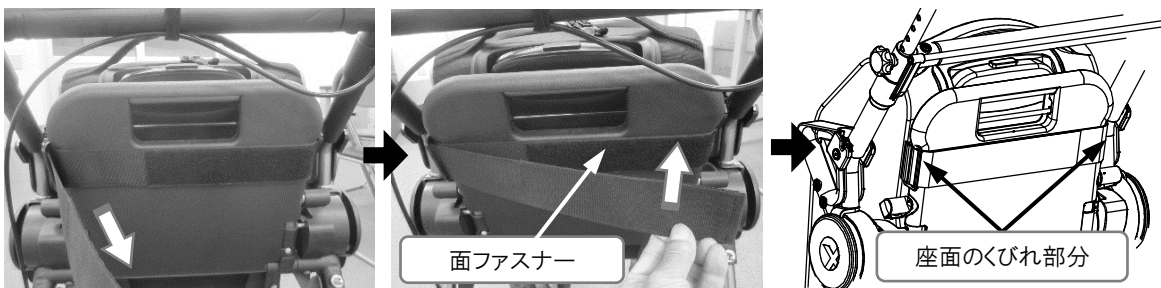
キャリーバッグの取り付け



- ①伸縮持ち手を収納します。
- ②バッグ固定ベルトを剥がし、ベルトを緩めます。
- ③座面裏側に沿わせるようにキャリーバッグを写真の向きで降ろします。



- ④緩めたバッグ固定ベルトを座面に巻くように通します。
- ⑤キャリーバッグ底面の2つのバッグ脚を写真のようにフレーム内側に入れます。



- ⑥バッグ固定ベルトを強く引き、しっかりとベルトのたるみを取り面ファスナーを重ねて固定します。
- ⑦バッグ固定ベルトが座面のくびれ部分でしっかりと固定されていることを確認します。

⚠ 注意 キャリーバッグ取り付けの際は、バッグ脚がフレームにきちんとはまっていることを確認してください。

⚠ 注意 キャリーバッグ取り付けの際は、バッグ固定ベルトがしっかりと座面に固定されていることを確認してください。

ご使用の後に

お手入れ

- ① ご使用の後は、乾いた布で土、砂などの汚れをふき取ってください。
故障の原因となります。
- ② 酸性、塩素系洗剤などや、シンナー、ベンジンなどの揮発性溶剤は使用しないでください。劣化、変色の原因となります。
- ③ 定期的に各部の破損、ゆるみ、磨耗が無いか確認してください。

保管上の注意

- ① 長時間使用しない場合は、高温多湿の場所は避け、直射日光の当たらない場所に保管してください。劣化、変色の原因となります。
- ② 屋外での保管はお止めください。劣化、変色の原因となります。
(雨ざらしにはしないでください。)
- ③ 自動車内などの70℃を越える可能性がある場所での保管はお止めください。

保安上の注意

- ① 非常口や消火器、消火栓などの前に放置しないでください。
- ② お買い求めの販売店、当社のサービス員以外の分解はお止めください。
- ③ 幼児や小さなお子様の手の届くところには放置しないでください。

廃棄

お住まいの自治体の指示に従い処分、廃棄をしてください。

保証基準

- ① この商品の保証期間はご購入日より1ヵ年です。
- ② 保証期間内には部品の欠品、不良加工などメーカーの責任によるものは無償修理をいたしますが、使用者の責任によるものは実費修理といたします。
- ③ 次の項目は無償サービスから除外させていただきます。
 - A. 本体の自然劣化（メッキや塗装は時々お手入れを必要とします）
 - B. バッグのキズ、破れ、色あせ、ファスナーの故障
 - C. 間違った使い方や手入れ不良によるもの
 - D. キャスターの磨耗
 - E. 使用者の分解や改造によるもの
 - F. 災害や事故等によるもの
 - G. 実費修理に要する運賃などの諸経費
- ④ お客様のご都合による製品の返品・交換はできかねます。
- ⑤ 製品についての各種お問い合わせは、お買い求めの販売店またはメーカーにご連絡ください。
- ⑥ 製品についての保証は日本国内のみといたします。

ご購入日より1ヵ年経過した製品についても修理はいたしますが、修理した製品についての品質、安全の保証はいたしかねます。ただし、製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。



SGマークが表示されたシルバーカーは安心してご使用いただけます。

SGマークが表示された製品は、製品の欠陥により発生した人身事故で損害を被った場合は、製品安全協会がその損害を賠償いたします。

※キャリーバッグ単体での使用時に発生したものは賠償の対象外となります。

※ただし、保証期間はご購入日より3ヵ年です。

■ 賠償についてのご注意

- 認定したシルバーカーそのものが故障しても、その品質について保証するというものではありません。あくまでも傷害など身体的な損害について賠償する制度です。
- 詳しくは製品安全協会パンフレットまたは、協会ホームページを参照してください。

■ 製品の欠陥による事故が起きた場合

事故が発生した日から60日以内に別欄の項目を下記の協会または協会が指定するところに届けてください。

製品安全協会

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2

ミサワホームズ三ノ輪 2F TEL. 03-5808-3300

URL : <https://www.sg-mark.org/>

事故の届出に必要な項目

- ① 事故の原因となったSGマーク表示の製品
(イ)製品の名称 (ロ)製品の購入先、購入年月
- ② 事故発生の状況
(イ)発生日月 (ロ)発生場所 (ハ)発生状況
- ③ 被害の状況
(イ)被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所
(ロ)被害状況とその程度



株式会社 **ミクニライフ&オート**

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-13-11
TEL. 03(3833)2738 FAX. 03(3833)2819
受付時間 10:00~12:00 13:00~17:00
(土日・祝日除く)